



2025年12月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年8月13日
上場取引所 東

上場会社名 株式会社ファインデックス
コード番号 3649 URL <https://findex.co.jp>
代表者 （役職名）代表取締役社長 （氏名）相原 輝夫
問合せ先責任者 （役職名）財務IR担当 執行役員 （氏名）村上 貴史 TEL 03 (6271) 8958
半期報告書提出予定日 2025年8月13日 配当支払開始予定日 2025年9月12日
決算補足説明資料作成の有無：有
決算説明会開催の有無：有 アナリスト向け

（百万円未満切捨て）

1. 2025年12月期第2四半期（中間期）の連結業績（2025年1月1日～2025年6月30日）

（1）連結経営成績（累計）（％表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年12月期中間期	3,125	△2.5	955	1.6	985	4.2	685	△2.2
2024年12月期中間期	3,205	42.5	940	136.7	945	128.1	701	147.0

（注）包括利益 2025年12月期中間期 683百万円（△4.4％） 2024年12月期中間期 714百万円（148.8％）

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2025年12月期中間期	26.88	—
2024年12月期中間期	27.34	—

（注）潜在株式調整後1株当たり中間純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円
2025年12月期中間期	6,883	5,721	83.0	226.93
2024年12月期	6,684	5,607	83.8	218.24

（参考）自己資本 2025年12月期中間期 5,710百万円 2024年12月期 5,602百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年12月期	—	7.00	—	8.00	15.00
2025年12月期	—	8.00	—	—	—
2025年12月期（予想）	—	—	—	9.00	17.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2025年12月期の連結業績予想（2025年1月1日～2025年12月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	6,022	3.1	1,465	△4.0	1,515	△1.9	1,108	△4.7	43.18

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更：無

新規 ー社 (社名) ー、除外 ー社 (社名) ー

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料9ページ「2. 中間連結財務諸表及び主な注記(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更に関する注記)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2025年12月期中間期	26,608,800株	2024年12月期	26,608,800株
2025年12月期中間期	1,446,022株	2024年12月期	937,033株
2025年12月期中間期	25,508,074株	2024年12月期中間期	25,654,807株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(中間期)

(注) 期末自己株式数には、日本カストディ銀行(信託E口)が保有する当社株式(2025年12月期中間期 135,300株、2024年12月期 140,000株)が含まれております。また、株式会社日本カストディ銀行(信託口)が保有する当社株式を、期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めております(2025年12月期中間期 137,162株、2024年12月期中間期 150,877株)。

※ 第2四半期(中間期)決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は今後の様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当中間決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 中間連結貸借対照表	5
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	6
中間連結損益計算書	6
中間連結包括利益計算書	7
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項	9
(会計方針の変更に関する注記)	9
(セグメント情報等の注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(追加情報)	10
3. 補足情報	11

1. 当中間決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社グループは、企業理念である「価値ある技術創造で社会を豊かにする」を実現するために、医療用のソフトウェアや医療機器、行政組織のDXを推進するソリューションを中心とした製品・サービスを開発・提供しております。「新しい発想・技術の探求」を基に「モノ創りの喜びを感じられる研究開発」を推進し、「お客様の期待を上回り、社会の発展に貢献する製品」を提供することを、経営の基本方針として定めております。

当中間連結会計期間(2025年1月1日～2025年6月30日)の経営成績は、以下のとおりです。

(単位：千円)

	2024年12月期 中間期	2025年12月期 中間期	増減額	増減率	通期業績予想 達成率
売上高	3,205,521	3,125,603	△79,917	△2.5%	51.9%
営業利益	940,372	955,102	14,729	1.6%	65.2%
経常利益	945,376	985,539	40,163	4.2%	65.1%
親会社株主に帰属する 中間純利益	701,324	685,697	△15,626	△2.2%	61.9%

当中間連結会計期間の経営成績は、売上高3,125,603千円(前年同期比2.5%減)、営業利益955,102千円(同1.6%増)、経常利益985,539千円(同4.2%増)、親会社株主に帰属する中間純利益685,697千円(同2.2%減)となりました。通期業績予想に対する達成率は、売上高で51.9%、営業利益で65.2%、経常利益で65.1%、親会社株主に帰属する中間純利益で61.9%です。

当中間連結会計期間は、前中間期で高水準だった上期集中型の業績と対比すると減収となりました。しかしながら当年度は第4四半期に強い積み上がりを見込んでおり、通期業績予想の達成に向けて順調に進捗していると判断しています。利益は、仕入高の減少により粗利率が改善し増加しました。なお、親会社株主に帰属する中間純利益の主な減少要因は、賃上げ促進税制の影響によるものであります。

当中間連結会計期間のセグメント別(連結)の経営成績は、以下のとおりです。

《医療ビジネス》

(単位：千円)

	2024年12月期 中間期	2025年12月期 中間期	増減額	増減率
売上高	3,038,515	2,856,080	△182,435	△6.0%
営業利益	976,309	936,455	△39,853	△4.1%

医療ビジネスセグメントの主力製品は、医療機関のDXを支援する画像ファイリングシステム「Claio」や診療記事記載システム「C-Note」、文書作成システム「DocuMaker」です。従来のオンプレミス型製品に加え、近年は患者案内アプリ「PiCIs Medical Avenue」や電子トレーシングレポートサービス「PiCIs AAdE-Report」など、クラウドサービスの拡充も図っております。

当中間連結会計期間は病院案件23件、診療所案件66件の新規導入・追加導入及びシステム更新を実施しました。保守サービスによる安定収益がある他、病院の収益向上やコスト削減を支援するクラウドサービス「PiCIs」が高く評価され、着実に導入件数を伸ばしています。当セグメントの経営成績は、売上高2,856,080千円(前年同期比6.0%減)、営業利益936,455千円(同4.1%減)となりました。

前中間期は複数の大型案件稼働により売上・利益共に極めて高く、当中間期においては前年同期比で減収減益となりましたが、受注残高は過去最高水準で推移しており、また営業利益率は過去最高を更新するなど収益性も向上しています。

現在の医療市場は厳しい経営環境に置かれている病院が多いなか、当社製品は医療現場に欠かせないシステムとして高い継続率を有しています。当社のクリニック顧客の多くは好業績を維持する診療科で構成されており、病院顧客においても急性期病院が中心であることから、安定した顧客基盤のもと堅実なビジネス運営を実現しております。さらに、国が推進する医療データ活用に関しても、次世代医療基盤法(注1)を見据えた事業展開を進めており、今後の成長が見込まれます。

クラウドソリューションと医療AI技術の提供を主業とする子会社のフィッティングクラウド株式会社は、生成AIを活用し病院における業務の省力化を図るソリューション「CocktailAI」の拡販を目指し、デモサイトの構築や新機能追加、当社製品並びに他社製品との連携を引き続き進めています。また、次世代医療基盤法におけるⅡ型認定事業者(注2)にむけたビジティン環境(注3)を構築するなど、国の医療政策と連携した事業の体制整備を行っています。

- (注1) 次世代医療基盤法：正式名称「医療分野の研究開発に資するための匿名加工医療情報及び仮名加工医療情報に関する法律」。診療・身体情報を含む患者の個人情報等を、個人が特定できないまで加工したうえで新薬開発や研究・治験等への二次利用を可能とする、医療データの利活用を推進するため制定された法律
- (注2) Ⅱ型認定事業者：Ⅱ型認定を取得した認定利用事業者。Ⅱ型認定とは、仮名加工医療情報の管理方式において自らの整備した環境ではなく、ビジティン環境を利用すること
- (注3) ビジティン環境：次世代医療基盤法において、利用者が必要なデータへアクセスし利用するために、クラウド上に構築される安全な環境のこと

《公共ビジネス》

(単位：千円)

	2024年12月期 中間期	2025年12月期 中間期	増減額	増減率
売上高	143,967	243,710	99,743	69.3%
営業利益	48,942	124,581	75,639	154.5%

公共ビジネスセグメントの主力製品はSaaS型ソリューション「DocuMaker Office」です。公共セクターのDXを支援する公文書管理・電子決裁システムと、医療機関事務部門の書類を作成・管理するシステムがあります。

当中間連結会計期間では、自治体向けパッケージが14件、医療機関向けパッケージが4件稼働し、当セグメントの経営成績は、売上高243,710千円（前年同期比69.3%増）、営業利益124,581千円（同154.5%増）となりました。増収増益の主な要因は、導入数及び稼働施設数の増加と月額利用料のストックによるものです。売上の増加が人件費等のコスト増加を吸収し、引き続き高い収益性を維持しております。

自治体向けパッケージは、以前の県庁などへの導入実績が好材料となり、当中間期に新規代理店案件3件を受注しました。現在導入を進めている案件は、県庁所在地でもある中核市への導入であり、市町村ユーザーの中では過去最大規模です。今後、同規模ユーザー獲得に向けたモデルケースとなるよう、鋭意導入を進めています。

医療機関向けパッケージは、病院系列間で利用する大規模案件をはじめ複数案件の導入に注力し、全ての施設で安定稼働いたしました。

サービス開始以来、自治体向けパッケージは累計53件、医療機関向けパッケージは累計13件が稼働し、総利用者数は約48,000人に達しています。サービス開始以来の解約数は0件であり、昨年に引き続き順調に顧客基盤を築いております。当社の提案力及び製品力が高く評価されていることから、今後も着実に案件数は増加し、事業規模も拡大していく見込みです。

《ヘルステックビジネス》

(単位：千円)

	2024年12月期 中間期	2025年12月期 中間期	増減額	増減率
売上高	23,038	25,812	2,773	12.0%
営業損失(△)	△84,879	△105,934	△21,055	-

ヘルステックビジネスセグメントの主力製品は、視線分析型視野計「GAP」(注4)及び「GAP-screener」(注5)です。

「GAP」及び「GAP-screener」は、従来の検査手法とは全く異なるアプローチを用いて視野を測定することで可用性を高めた、安価で画期的なウェアラブルデバイスであり、初期の自覚症状に乏しい緑内障などの網膜疾患の早期発見率の向上に寄与します。本製品はこれまで検査の際に必須であった暗所の確保を不要とし、検査時間の短縮や患者の負担軽減を実現しました。更に、健診施設での利用を通じて網膜疾患初期の視野データを取得・分析し、それらを国内外の研究開発機関と共有することで、製薬や生命保険領域など様々なフィールドでの技術・サービス革新への寄与が期待されます。

当中間連結会計期間の製品販売台数は5台となりました。これにより、当セグメントの経営成績は、売上高25,812千円（前年同期比12.0%増）、営業損失105,934千円（前年同期は営業損失84,879千円）となりました。単価の高い製品の出荷が多く売上高が増加した一方で、原材料評価損の計上及び販管費の増加により減益となりました。

当セグメントでは、全国各地の眼科医療機器販売代理店を通じ、眼科病院・クリニックへ向けては「GAP」を販売するとともに、健診施設へ向けては「GAP-screener」を販売しています。

国内向けには健康診断施設に強みを持つキャノンメドテックサプライ社（本社：神奈川県）と代理店契約を締結し、販売代理店の拡充による販売体制を強化しています。海外向けには台湾・ブラジルへ販売地域を拡大し、三度目のロット出荷を予定しています。

(注4) GAP：ゲイズ・アナライジング・ペリメーター、医療機器製造販売届出番号 38B2X10003000002

(注5) GAP-screener：ゲイズ・アナライジング・ペリメーター、医療機器製造販売届出番号 38B2X10003000003

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

(単位：千円)

	2024年12月期	2025年12月期 中間期	増減額
資産合計	6,684,103	6,883,015	198,911
負債合計	1,076,912	1,161,612	84,700
純資産合計	5,607,191	5,721,402	114,211

当中間連結会計期間末の総資産は、6,883,015千円となり、前連結会計年度末と比較して198,911千円増加しました。これは主に、現金及び預金の増加648,024千円に対する受取手形、売掛金及び契約資産の減少425,801千円を主な要因とする流動資産の増加190,491千円によるものであります。

負債は、1,161,612千円となり、前連結会計年度末と比較して84,700千円増加しました。これは主に、未払金の増加10,818千円、未払法人税等の増加59,784千円を主な要因とする流動負債の増加90,309千円によるものであります。

純資産は、5,721,402千円となり、前連結会計年度末と比較して114,211千円増加しました。これは主に、利益剰余金の増加479,203千円に対する自己株式の増加360,935千円を主な要因とする株主資本の増加116,831千円によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社は、2025年3月10日開催の取締役会において、会社法第459条第1項及び当社定款第41条の規定に基づき、自己株式取得に係る事項を下記の通り決議しました。この結果、2025年3月14日から7月31日までの間において、自己株式467,511千円(650,900株)を取得しました。

なお、2025年12月期通期の連結業績予想につきましては、2025年2月13日の通期決算短信で公表した内容から、現段階で変更はありません。今後、業績予想の修正が必要になった場合には、速やかに開示いたします。

取得に係る事項の内容

- | | |
|----------------|--|
| (1) 取得する株式の種類 | 当社普通株式 |
| (2) 取得し得る株式の総数 | 1,333,300株(上限)
(発行済株式総数(自己株式を除く)に対する割合：5.19%) |
| (3) 株式の取得価格の総額 | 10億円(上限) |
| (4) 取得する期間 | 2025年3月14日～2025年12月7日まで |
| (5) 取得の方法 | 東京証券取引所における市場買付 |

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位: 千円)

	前連結会計年度 (2024年12月31日)	当中間連結会計期間 (2025年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,734,390	2,382,414
受取手形、売掛金及び契約資産	1,550,177	1,124,376
商品及び製品	184,197	131,193
仕掛品	5,304	1,463
原材料及び貯蔵品	50,383	35,978
その他	58,010	97,528
流動資産合計	3,582,463	3,772,954
固定資産		
有形固定資産	80,213	88,902
無形固定資産		
ソフトウェア	310,519	310,909
その他	344	344
無形固定資産合計	310,863	311,254
投資その他の資産	2,710,563	2,709,904
固定資産合計	3,101,640	3,110,060
資産合計	6,684,103	6,883,015
負債の部		
流動負債		
買掛金	67,289	38,614
未払金	104,913	115,732
未払法人税等	259,266	319,051
その他	342,800	391,182
流動負債合計	774,270	864,580
固定負債		
株式給付引当金	271,210	269,531
その他	31,430	27,500
固定負債合計	302,641	297,032
負債合計	1,076,912	1,161,612
純資産の部		
株主資本		
資本金	254,259	254,259
資本剰余金	227,222	225,785
利益剰余金	5,907,136	6,386,340
自己株式	△771,816	△1,132,752
株主資本合計	5,616,802	5,733,633
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△14,317	△23,365
その他の包括利益累計額合計	△14,317	△23,365
非支配株主持分	4,706	11,134
純資産合計	5,607,191	5,721,402
負債純資産合計	6,684,103	6,883,015

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書
(中間連結損益計算書)

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年6月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年6月30日)
売上高	3,205,521	3,125,603
売上原価	1,282,344	1,088,868
売上総利益	1,923,176	2,036,735
販売費及び一般管理費	982,804	1,081,632
営業利益	940,372	955,102
営業外収益		
受取利息	39	23,553
補助金収入	3,114	3,887
受取ロイヤリティー	1,660	1,660
その他	189	2,092
営業外収益合計	5,003	31,194
営業外費用		
自己株式取得費用	—	755
その他	—	1
営業外費用合計	—	757
経常利益	945,376	985,539
税金等調整前中間純利益	945,376	985,539
法人税、住民税及び事業税	240,237	299,502
法人税等調整額	4,108	△6,088
法人税等合計	244,345	293,413
中間純利益	701,030	692,126
非支配株主に帰属する中間純利益		
又は非支配株主に帰属する中間純損失(△)	△293	6,428
親会社株主に帰属する中間純利益	701,324	685,697

(中間連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年6月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年6月30日)
中間純利益	701,030	692,126
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	13,344	△9,048
その他の包括利益合計	13,344	△9,048
中間包括利益	714,374	683,077
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	714,668	676,649
非支配株主に係る中間包括利益	△293	6,428

(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位: 千円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年6月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益	945,376	985,539
減価償却費	19,382	16,219
ソフトウェア償却費	122,349	133,260
株式報酬費用	2,817	4,662
株式給付引当金の増減額 (△は減少)	1,879	1,946
受取利息及び受取配当金	△39	△23,553
補助金収入	△3,114	△3,887
自己株式取得費用	—	755
売上債権の増減額 (△は増加)	1,188,681	425,801
棚卸資産の増減額 (△は増加)	96,969	71,249
前払費用の増減額 (△は増加)	△12,824	△19,064
未収入金の増減額 (△は増加)	6,032	8,266
仕入債務の増減額 (△は減少)	△28,341	△28,675
未払金の増減額 (△は減少)	△6,335	9,764
未払費用の増減額 (△は減少)	9,425	△965
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△17,584	△5,556
その他	64,963	34,712
小計	2,389,638	1,610,475
利息及び配当金の受取額	16	21,104
法人税等の支払額	△263,987	△241,691
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,125,667	1,389,887
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△90,000	△90,000
定期預金の払戻による収入	90,000	90,000
有形固定資産の取得による支出	△19,088	△21,253
無形固定資産の取得による支出	△128,887	△134,547
敷金の差入による支出	△2,654	—
敷金の回収による収入	91	220
その他	△936	△1,352
投資活動によるキャッシュ・フロー	△151,476	△156,933
財務活動によるキャッシュ・フロー		
自己株式の取得による支出	—	△378,752
配当金の支払額	△231,893	△206,177
財務活動によるキャッシュ・フロー	△231,893	△584,929
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	1,742,297	648,024
現金及び現金同等物の期首残高	2,563,160	1,614,390
現金及び現金同等物の中間期末残高	4,305,457	2,262,414

(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(会計方針の変更に関する注記)

(「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」等の適用)

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」(企業会計基準第27号 2022年10月28日)、「包括利益の表示に関する会計基準」(企業会計基準第25号 2022年10月28日)及び「税効果会計に係る会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第28号 2022年10月28日)を当中間連結会計期間の期首から適用しております。これによる中間連結財務諸表への影響はありません。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

前中間連結会計期間(自 2024年1月1日 至 2024年6月30日)

(単位:千円)

	報告セグメント				中間連結損益 計算書計上額 (注)
	医療ビジネス	公共ビジネス	ヘルステック ビジネス	合計	
売上高					
外部顧客への売上高	3,038,515	143,967	23,038	3,205,521	3,205,521
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	3,038,515	143,967	23,038	3,205,521	3,205,521
セグメント利益又は 損失(△)	976,309	48,942	△84,879	940,372	940,372

(注) セグメント利益又は損失の合計額は、中間連結損益計算書の営業利益と一致しております。

当中間連結会計期間(自 2025年1月1日 至 2025年6月30日)

(単位:千円)

	報告セグメント				中間連結損益 計算書計上額 (注)
	医療ビジネス	公共ビジネス	ヘルステック ビジネス	合計	
売上高					
外部顧客への売上高	2,856,080	243,710	25,812	3,125,603	3,125,603
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	2,856,080	243,710	25,812	3,125,603	3,125,603
セグメント利益又は 損失(△)	936,455	124,581	△105,934	955,102	955,102

(注) セグメント利益又は損失の合計額は、中間連結損益計算書の営業利益と一致しております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(株式給付信託(J-ESOP)における会計処理方法)

当社は、2015年10月29日開催の取締役会において、当社の株価や業績と従業員の処遇の連動性をより高め、経済的な効果を株主の皆様と共有することにより、株価及び業績向上への従業員の意欲や士気を高めるため、従業員に対して市場から購入した自社の株式を給付するインセンティブプラン「株式給付信託(J-ESOP)」を導入することを決議しております。

この導入に伴い、2015年11月13日から2015年11月26日の間に資産管理サービス信託銀行株式会社(信託E口)

(現:株式会社日本カストディ銀行(信託E口))が当社株式194,200株を取得しております。

当該株式給付信託に関する会計処理については、「従業員等に信託を通じて自社の株式を交付する取引に関する実務上の取扱い」(実務対応報告第30号 平成27年3月26日)に準じて、信託の資産及び負債を企業の資産及び負債として連結貸借対照表上に計上する総額法を適用しております。

なお、株式会社日本カストディ銀行(信託E口)が保有する自己株式は、中間連結貸借対照表の純資産の部に自己株式として表示しております。前連結会計年度末における計上額は108,000千円、株式数は140,000株、当中間連結会計期間末における計上額は104,374千円、株式数は135,300株であります。

3. 補足情報

(1) 経営管理上重要な指標の推移

	2024年12月期 中間 連結会計期間	2025年12月期 中間 連結会計期間	2024年12月期
売上高 (千円)	3,205,521	3,125,603	5,841,379
営業利益 (千円)	940,372	955,102	1,525,418
経常利益 (千円)	945,376	985,539	1,544,705
中間(当期)純利益 (千円)	701,030	692,126	1,160,548
非支配株主に帰属する中間純利益 又は非支配株主に帰属する中間(当期)純損失 (千円)	△293	6,428	△1,816
親会社株主に帰属する中間(当期)純利益 (千円)	701,324	685,697	1,162,365
中間包括利益又は包括利益 (千円)	714,374	683,077	1,151,618
純資産 (千円)	5,345,307	5,721,402	5,607,191
総資産 (千円)	6,414,161	6,883,015	6,684,103
1株当たり純資産 (円)	208.03	226.93	218.24
1株当たり中間(当期)純利益 (円)	27.34	26.88	45.30

(2) 生産、受注及び販売の状況

① 生産実績

当中間連結会計期間の生産実績は、次のとおりであります。

事業部門	生産高 (千円)	前年同期比 (%)
医療ビジネス	685,928	87.9
公共ビジネス	62,162	136.6
ヘルステックビジネス	63,925	79.7
合計	812,016	89.6

(注) 金額は当期総製造費用によるものであります。

② 受注状況

当中間連結会計期間の受注状況は、次のとおりであります。

事業部門	受注高 (千円)	前年同期比 (%)	受注残高 (千円)	前年同期比 (%)
医療ビジネス	2,221,311	151.4	1,499,598	146.9
公共ビジネス	62,131	51.9	43,168	40.9
ヘルステックビジネス	55,837	423.0	41,870	1,395.7
合計	2,339,279	146.2	1,584,637	140.3

③ 販売実績

当中間連結会計期間の販売実績を販売・サービス種類別に示すと、次のとおりであります。

販売・サービス種類別	販売高 (千円)	構成比 (%)	前年同期比 (%)
医療ビジネス			
ソフトウェア (うち代理店販売額)	1,580,965 (363,308)	50.6	93.1
ハードウェア (うち代理店販売額)	239,060 (9,144)	7.7	72.9
サポート (うち代理店販売額)	844,066 (259,032)	27.0	108.3
その他	191,987	6.1	82.4
公共ビジネス			
ソフトウェア (うち代理店販売額)	243,017 (42,896)	7.8	189.3
ハードウェア	693	0.0	9.0
その他	—	—	—
ヘルステックビジネス	25,812	0.8	112.0
合計	3,125,603	100.0	97.5